

ひだかボラセンだより

「ひだかボラセンだより」とは、日高市ボランティアセンター（ボラセン）が発行する情報誌です。
定期的な発行ではありませんが今後ともご愛読ください。



おとなも子どもも誰でも「日高こども食堂」スタート!



令和3年3月から、日高団地内の朝日新聞サービスアンカーASA日高でコミュニティ食堂がスタートしました。「日高こども食堂」は「おとな」も「子ども」も「誰でも」来れる場所をという思いからつけられました。コロナ禍により、集合しての食堂ではなく、お弁当の配付となりましたが、参加した方からは、「少しの時間でも誰かと話ができる」と安心する」と食の支援をきっかけに、ゆるやかなつながりと安心が生まれました。

市内では現在4団体（※日高市ボランティアセンター登録数）がコミュニティ食堂（子ども食堂）を展開していますが、いずれもお弁当配付での開催です。これまで進めてきた集まっての実施はしばらくできないかもしれませんが、食堂へお弁当を取りに行くことをきっかけに、久々に誰かと話すことができたり、少し歩いてみようと思えたり、つながりを絶やさない活動になっています。

【発行・問合せ先】

日高市社会福祉協議会 日高市ボランティアセンター

TEL 042-985-9100

Mail v-center@hidakashi-shakyo.or.jp

連絡用 LINE: 

☆ボランティアセンター公式 Facebook⇒



☆社協公式 YouTube⇒



☆ボランティアセンター公式 LINE⇒





コロナ禍のボランティア～活動の工夫紹介～



日高市傾聴ボランティア「うさぎ」



「誰かに話を聞いてほしい」、「不安や寂しさを聞いてほしい」というお気持ちに寄り添いお話をお聞きする傾聴ボランティア。主に高齢者施設での活動を中心としていましたがコロナで活動は1年間お休みをしています。お話を聞かせていただいたAさんは元気かな、と心配するボランティアさんも。そのような思いから、施設に絵手紙や折り紙でメッセージを伝えることで、つながりを断たない活動になりました。



ボランティアセンターからのお知らせ



ボランティア活動保険の更新はお済ですか？

令和2年度のボランティア活動保険は令和3年3月31日で保険対象期間は終了となります。令和3年度分の加入には申込みが必要です。詳しくは日高市ボランティアセンターまでお問い合わせください。

※個人のかたの重複申込については本会では把握できかねますので、各個人でご確認くださいませよう願いたします。

編集後記

昨年度はボランティア活動が変化する1年でした。今後も活動の参考となる情報や事例等を積極的に発信します。個別の相談もお気軽にお願いします。(吉田)



令和3年度埼玉県社会福祉協議会助成事業のご案内

地域社会で孤立せず、共に支え合いながら暮らすことができる社会の実現を目指し、地域の様々な課題解決に向けたボランティア活動や民間団体の地域福祉活動を応援するための助成事業を実施しています。詳しくは埼玉県社会福祉協議会HPをご確認ください。

〇浦和競馬子ども基金

様々な困難を抱える子どもたちの支援に

〇子ども食堂応援基金

貧困の連鎖の解消に資する子どもの居場所の立ち上げ支援に

〇ふれあいの詩基金

障害者の社会参加活動を進めるボランティア活動の振興

〇ひまわり基金

地域における民間社会福祉かつどうの推進と振興に